牛久自然観察の森
Ushiku Nature Sanctuary

牛久自然観察の森

１９９０年（平成２年）に開園した牛久自然観察の森は、原生の大自然ではなく、昔から生活の身近にあった自然を対象に、それぞれの地域に残されている自然環境をより良いかたちで保全し、多様な生きものが生息できるような環境づくりを行っています。雑木林やスギ林、草原などをフィールドに、四季を通じて多種多様な生きものの息づかいを感じながら散策いただけます。

※　観察の森とは、環境庁（当時）が補助事業として実施した「身近な自然活用地域整備事業」で整備された全国１０箇所にある施設のことです。

観察舎

農家の家を模した建物。和室や縁側で休憩ができる。（お手洗いも併設）

利用時間
１０：００～１５：００

■deta

開　　園：平成２年４月
面　　積：約 24 ha
園　　路：１周約３km
所　　管：牛久市役所都市計画課
指定管理者：特定非営利活動法人うしく里山の会

■主な生物別種数

哺　乳　類：　８種
両性爬虫類：　１７種
鳥　　類：　８４種
魚　　類：　１５種
昆　虫　類：７４４種
植　　物：５０４種
・草本類：３４２種
・木本類：　９１種
・シダ類：　２２種

施設で利用できるもの

総合案内
持ち込み飲食可
授乳室
自動販売機有
双眼鏡貸出し
虫眼鏡貸出し
AED
荷物お預かり

ネイチャーセンター

自然解説員が常駐しており、最新の自然情報やイベント情報を発信。また、牛久市周辺で見られる水辺のいきものコーナーや木のおもちゃとふれあえる木育体験コーナーを常設している。その他、虫眼鏡や双眼鏡の貸し出しも行っている。

木育体験（もくいくたいけん）

木の玉でできた砂場やカラクリ玩具など日本全国の木のおもちゃ作家達の作品や海外の木製玩具を含めた 100 種類以上の木のおもちゃとふれあうことができる。

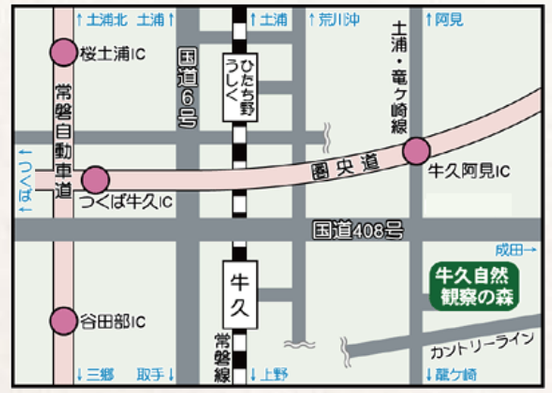
《ご利用案内》

体 験 料　１人 300 円（１歳未満無料）
体験時間　平日９０分以内・土日祝６０分以内
　　夏休み・冬休み・春休み期間 60 分以内
対　　象　個人、一般向け（団体要事前連絡）
体験時間　9：00～15：00
受付方法　当日先着順 [ネイチャーセンター受付で申込用紙にご記入ください ※小学３年以下は保護者同伴

水辺の生きものコーナー

館内では、大小さまざまな水槽にメダカやドジョウ、カメ、ウナギなど、身近な水辺で見られる生きものを生態展示しています。

アクセスマップ



交通案内

公共交通機関をご利用の場合、最寄りの駅は JR 常磐線「牛久駅」そこからコミュニティーバス「かっぱ号」または、タクシーにてアクセスとなります。

■コミュニティーバス「かっぱ号」の場合
「小坂団地ルート」に乗車、「牛久自然観察の森正門」下車すぐ
・右回り１日７便
＊詳しくは、牛久市公式ホームページをご覧下さい。

■タクシーの場合
牛久駅東口タクシー乗り場からご利用になれます。
牛久駅から約１０分 4.6km

■入園料
無料（ネイチャーセンター内木育広場のみ体験料として１人 300 円）

■開園時間
〈 ２月～ 10 月〉9：00 ～ 16：45 ※16：00 入場終了
〈11 月～　１月〉9：00 ～ 16：00 ※15：15　〃

■休園日
毎週月曜日と祝日の翌日、12 月 29 日～１月３日

■最新自然情報
X（ 旧 twitter）にて発信しています。
https://x.com/ushikushizen?s=21

■お問い合わせ
☎　：029-874-6600
Mail：kansatsu@city.ushiku.ibaraki.jp
公式ホームページ：
http://www.city.ushiku.lg.jp/page/dir000055.html

■住所
〒300-1212
茨城県牛久市結束町 489-1
牛久自然観察の森ネイチャーセンター

■指定管理者
特定非営利活動法人うしく里山の会

利用案内

牛久自然観察の森
園内 MAP

園内は、 3つのゾーンと16の
観察目標がそれぞれ設定
されています。

ガイドゾーン（フクロウの森）

スギ・シラカシを主体とした現存の自然環境をそのまま保存していくゾーン。 環境調査等、 ガイド時に立ち入る以外は生きものたちの聖域となっている。

セルフガイドゾーン

継続的な管理により、 自然環境の多様性を維持していくゾーン。 歩きやすく整備してあり、 解説板を見ながら散策することができます。

シイの森

シラカシやシロダモなどの常緑広葉樹の森。 牛久市の原植生でもあり、 ムラサキシジミなど常緑広葉樹を利用する昆虫類が見られる。

カッパの沼

森に囲まれた静かな沼。 昔は農業用のため池として使われていた。 コイやカメなどの水生生物がすみ、 初夏にはハンゲショウが沼を明るく彩る。

アカネズミの林

スギやシラカシの大木が生いしげる鬱蒼とした林。 シジュウカラやエナガなど森林性の鳥類の生息地となっている。

タケノコの林

かつて生活の様々な場面で利用されてきたマダケの林と、 クリ・ヤマザクラを主とした雑木林が広がっている。 定期的な間伐と下草刈りにより、 昔ながらの竹林をのぞむことができる。

ヒグラシの林

薄暗いスギ林の中を散策できるエリア。 お盆の頃にはその名の通りヒグラシの大合唱が聞こえる。

コムラサキの丘

林の中に佇む池沼環境が見られるエリア。 一年を通してカワセミやサギの仲間が訪れ、 夏の暑い日には猛禽類が水浴びにやってくる。 野鳥たちの自然の姿が観察できるよう、 ハイド（観察用の壁）を設けている。

タマムシの森

クヌギやコナラを主体とした雑木林。 明るい林床ではニリンソウやヤマユリ、 ツリガネニンジンなど、 四季折々の花が楽しめる。 冬には小鳥たちの姿がよく見られる。

ノウサギの丘

昔ながらの人里を再現したエリア。 農家の庭先には実のなる木を植え、 畑では野菜を栽培している。 ここでは、 鳥やけもの・昆虫など、 木の実や野菜を食べにやってくる生きもの達を観察することができる。

オトシブミの林

コナラやクリなどが生える「雑木林」、 スギ・ヒノキで構成された「二次林」、 そして、 かつてはこの周辺でよく見られた「アカマツ林」。 の3つのタイプの里山の様子を感じられる。

コブナの流れ

小川沿いを散策できるエリア。 一年を通してメダカやザリガニが見られる。 また3月にはアズマヒキガエルが産卵にやってくる。

ウグイスの林

下草刈りをせず、 アズマネザサのやぶを残すエリア。 やぶ地を「すみか」や「かくれが」にするタヌキやノウサギ、 ウグイスなどが生息している。

センターゾーン

ネイチャーセンターを中心とした、 森の中へ入るアプローチゾーン。

ネイチャーセンター

自然解説員が常駐しており、 最新の自然情報やイベント情報を得ることができる。 また牛久市周辺で見られる水辺のいきものの展示コーナーや木のおもちゃとふれあえる体験コーナーがある。

タヌキの林

スギ、 ヒノキを主体とした針葉樹の中を散策できるエリア。 春にはタチツボスミレが、 梅雨の季節にはドクダミが花を咲かせる。

コジュケイの林

クヌギ、 コナラを主体とした雑木林を散策できるエリア。 夏には樹液に集まる昆虫たちが見られるほか、 里山に生える希少植物も多く見られる。

バッタの原

バッタの集まる草原を散策できるエリア。 バッタの生育を考慮しながら草刈りの時期を変えている。 草地環境を好む生きものや植物を観察することができる。